



ひたちなか商工会議所

令和5年度

# 事業ダイジェスト

挑戦し発展する地域社会の実現に向けて ～中小企業の活力強化と地域力向上を推進

～ 設立 20 周年に向けた取り組みやイベントの実施 ～

## ○ひたちなか商工会議所ビジョン策定に向けた取り組み

### ◆ 設立 20 周年事業特別委員会の設置とビジョンの策定

▶ 設立 20 周年事業特別委員会（委員長：川嶋広行 副会頭）を設置し、記念式典等 20 周年事業や、次の 10 年に向けた「商工会議所ビジョン」の策定に向けた協議を行った。

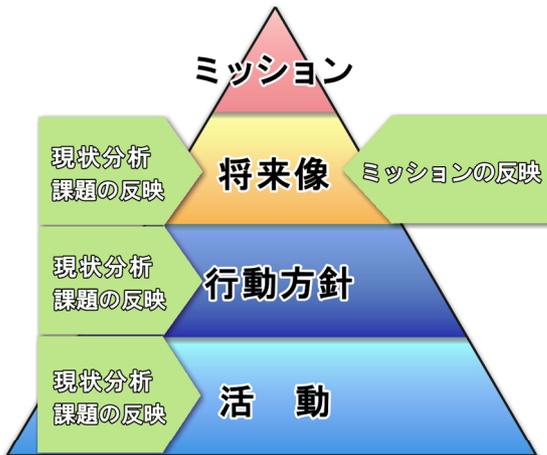
○委員会、WG（事業・地域・組織）の開催

令和5年3月9日～6年1月29日（計10回）

○ビジョンの策定：

新たな時代に対応した組織、財政、事業等運営基盤のイノベーション（改革）の推進に向けて、今後、本商工会議所の進むべき方向性を明確にするための指標となる、地域のリーダーとして創造性・先見性ある活動の推進による継続可能な地域経済の振興発展を図るための中長期ビジョンを策定した。また、ビジョン策定に向け、役員・議員、職員を対象にしたアンケート、アドバイザーによるヒアリング（令和5年5月～6月）を行った。

ひたちなか商工会議所ビジョン▶  
（ダイジェスト版）



### (1) ミッション

「中小企業の活力強化」と「地域経済の活性化」

### (2) 将来像（テーマ）

「時代を Catch, 次代へ Challenge！」

### (3) 行動方針（ビジョン）

Vision 1 [事業]

～環境変化に対応できる企業力強化、イノベーションの創出支援～

Vision 2 [地域]

～地域の成長ポテンシャルを高め地方創生を強く推進～

Vision 3 [組織]

～地域に必要なとされる組織、存在になるために～

## ○新春特別講演会

▶ 夏の甲子園で全国制覇を果たし、「ハンカチ王子」として大フィーバーを巻き起こした元プロ野球選手の斎藤佑樹氏を講師に、講演会を行った。

開催日：1月27日（勝田全国マラソン大会前日祭と同日開催）

会場：ひたちなか市文化会館

テーマ：「継続することの大切さ

～アスリートが創る！地域創生の未来像～」

来場者：866名



▲講師の斎藤佑樹氏

## ○勝田全国マラソン大会前日祭

▶ 飲食イベントとミニライブを開催し、ランナーのおもてなしと市民の交流を図った。

開催日：1月27日（新春特別講演会と同日開催）

会場：ひたちなか市文化会館

内容：飲食イベント（市内9店舗によるパスタ等の販売）とミニライブ

来場者：1,500人



1杯400円で▶  
6種類のパスタを提供

## ○地域間交流事業

▶ 三島商工会議所と鹿沼商工会議所と連携し、3県が誇るご当地葛とグルメを販売、各地域の特産品をPRした。

開催日：3月10日

会場：勝田 TAMARIBA 横丁

販売品：（三島）「紅ほっぺ」「みしまコロッケパン」

（鹿沼）「とちあいか」「かめまシウマイ」

（ひたちなか）「バインベリー」「ちちんぷりんぷりん」

ひたちなか商工会議所  
設立20周年 プレイベント



# I 中小企業のイノベーションの創出・成長支援

## ～ 会員事業所を伴走型で支援 ～

### ○経営課題解決に向けた相談体制の充実

◆10月から導入されたインボイス制度への対応や持続化補助金の申請に向けた相談会、セミナーを重点的に開催した他、企業が直面する経営課題を解決するための相談会や経営力の向上と安定に役立つテーマの講習会を開催、相談体制の充実を図った。また、会報への掲載やチラシの折り込みなどを利用し制度を周知した。

#### 【BCP（事業継続力強化計画）策定】

- ▶支援セミナー：8/3【参加者：11名】
- ▶個別相談会：9/12～12/20・計8回【相談件数：19件】

#### 【経営革新】

- ▶セミナー：9/22【参加企業：10社】
- ▶個別相談会：10/3～1/25（7回）【参加企業：17社】
- ▶経営革新計画支援事業所：7社  
承認申請提出：5社

#### 【持続化補助金】

- ▶個別相談会（7/11～1/23）【相談件数：312件】

#### 【インボイス制度】

- ▶個別相談会：4/26～10/25・計7回【相談件数：68件】
- ▶説明会：5/31【参加者：57名】
- ▶セミナー：7/7・8/29【参加者：65名】
- ▶専門家派遣：7事業所・8回
- ▶巡回・窓口相談：巡回118件、窓口312件

#### 【パートナーシップ構築宣言の普及促進】

- ▶取引先と共存共栄を築くために企業の規模に関わらず企業が発注者の立場で取引方針を宣言し取引先とのパートナーシップを強化する「パートナーシップ構築宣言」の導入と価格適正化に関する情報を提供した。



### ○創業支援と事業承継の促進



▲37名に修了証を授与

◆ひたちなか市と、事業承継マッチングプラットフォーム『relay（リレイ）』を運営する（株）ライトライト、ひたちなか商工会議所3者による「事業承継連携協定」を締結。（10/30）会員事業所のニーズを把握し、3者連携のもと事業承継事業に取り組んだ。



▲連携して事業承継を支援します！



▲Dog training Lab



▲らーめん志ん海



▲スパイスカリィ FUKUIRO

◆起業に向けたビジネスプランの作成等、経営全般について学ぶ創業スクールを開催した。本年度のスクール受講生は例年の約2倍となり、創業に対する意識の高さが伺われた。

- ▶創業応援セミナー（7/29）【20名】
- ▶創業スクール（9/9～11/25・計9回）【40名】

#### ◆チャレンジショップ事業

- 第20期生：3店舗採択  
出店奨励金30万円、コンサルタントによる無料経営サポート

令和5年度 採択事業所（開店順）①Dog training Lab  
②らーめん志ん海 ③スパイスカリィ FUKUIRO

### ○デジタル化推進による生産性向上への取り組み

◆独自に構築した、デジタル化支援などのサポート業者とのマッチングを行う、「IT導入サポートNAVI」、人材確保に向けた会員企業情報を紹介する「ひたちなか企業ガイドONLINE」等を運用し、人材不足解消・生産性向上に向けた情報提供を行った。



### ○人材確保促進事業

◆市内企業の人材不足対策に向け、若手人材の定着やセカンドキャリアの活用などの支援、また、福利厚生の充実や働き方改革への取り組みを促進するなど、健康で明るい職場づくりへ向けた事業を行った。

- ▶一般定期健康診断  
（本所）：7/10～14【受診者：157事業所・584名】  
（支所）：10/4～6【受診者：57事業所・517名】
- ▶健康増進ウォーキングチャレンジ（9/1/～30）  
参加者：325名（40社・65チーム）
- ▶「安心して働ける会社づくり」に向けた健康経営セミナー  
開催日：8/7【参加者：13名】・3/1【参加者：11名】

## II 人と企業が輝く地域づくりの推進

### ～ 地域活性化への取り組みを促進 ～

#### ○地域力向上イベントの開催

##### ◆地域おこし事業

###### ▶サイクリング DE ひたちなか with 大洗 (11/25)

253名が、観光やグルメ、音楽を楽しみながら約55kmのコースを完走。ゴール後、抽選会も行った。  
10回目の開催を記念してオリジナルロゴを作成。Tシャツやステッカー、のぼりを制作し、一層のPRを図った。



▲スターターは大谷市長と柳生会頭



▲第10回を記念してオリジナルロゴを作成

##### ◆観光・誘客への取り組み

###### ▶ひたちなか☆ほしいもフェア in 東京駅 (11/15~19)

ひたちなか産のほしいもやほしいも関連スイーツを販売。来場者は5日間で5,000人超、ブランド力向上を目指しPRを図った。



会場のグランスタ東京に▶出張した「ほしいも神社」には、連日大勢の来場者が参拝

###### ▶産業観光セミナー (3/6)

西谷雷佐氏を講師に、魅力ある観光地にするための気付きや体験型観光に対する日本人とインバウンドの認識の違いなど「持続可能な観光地づくりへの思考法」を学んだ。

「グローバルは目線が大事」と語る西谷氏



###### ▶外国クルーズ船寄港

茨城港常陸那珂港に寄港した際、岸壁では地元特産品のほしいも等を販売しインバウンド客をもてなした。「ダイヤモンド・プリンセス号」(4/21)「セブンシーズエクスプローラー号」(5/6)

##### ◆魚食普及活動支援事業

###### ▶みなとのとと焼きフェア

ご当地グルメ第7弾「みなとのとと焼き」をテーマに5店がオリジナルメニューを販売した。

###### ▶みんな大好きタコちゃん

イラストコンテスト  
応募作品：413点

(入賞者88名に蒸しダコを進呈)



▲タコ愛あふれる作品の数々

#### ○賑わいのある街づくりの推進

##### ◆プレミアム付商品券販売

▶物価高騰の影響を受け売上が減少する地元店舗の支援と市内の消費を喚起する目的で実施した。

発行総額：8億4千万円

使用期間：11月1日～1月31日

登録店：713店(新規29店)

申込方法：インターネット・往復はがき(完全予約販売)



##### ◆地域創生イベントの開催

###### ▶ひたちなか祭り (8/19~20)

【来場者：210,000人】

###### ▶那珂湊海上花火大会 (9/9)

【来場者：35,000人】

###### ▶みなと産業祭 (10/16)

【来場者：8,000人】

###### ▶産業交流フェア (11/4~5)

【来場者：166,000人】

#### ○海外展開・販路開拓の支援による経済交流促進

##### ◆海外展開支援事業

###### ▶北米進出セミナー・個別相談会

2回開催【参加者：13名】

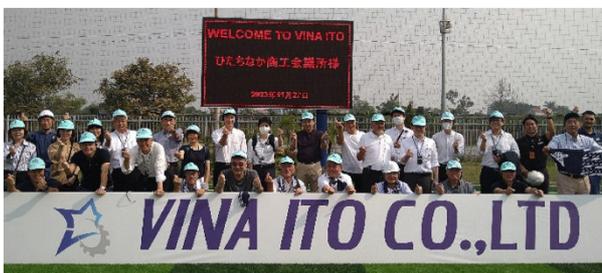
###### ▶EU(ドイツ)販路開拓事業説明会・個別相談会

2回開催【参加者：9名】

###### ▶ベトナム経済事情視察研修

現地企業による人材活用や日系企業向け人材育成の現状等について学んだ。

11月26日～30日【参加者：19名】



▲(株)伊藤鑄造鉄工所の現地法人を訪問

##### ◆まちづくり事業

###### ▶おもてまち七夕まつり (7/1)への助成

【来場者：30,000人】

###### ▶ひたちなかドリンクラリー (11/1)への助成

【来場者：490人】

###### ▶勝田 TAMARIBA 横丁への協力

(6・9・12・3月 第2日曜日)

##### ◆コミュニティ交流サロン事業

###### ▶まちかど交流館ふらっと

(勝田地区)

【年間来場者：4,645人】

###### ▶まちの駅チーム3710屋

(那珂湊地区)

【年間来場者：1,461人】

##### ◆駅前イルミネーション事業

###### ▶勝田・那珂湊2駅同時点灯

セレモニー (12/1)

点灯期間：12月1日

～1月31日



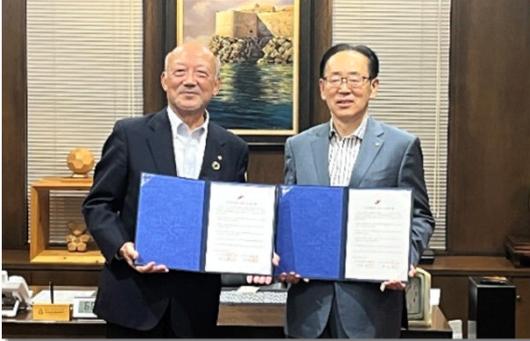
▲JR勝田駅前のイルミネーション

### Ⅲ 変化に対応できる商工会議所機能の強化

#### ～ 運営基盤の強化と 4,000 会員の堅持 ～

##### ○鹿沼商工会議所との友好協定締結

- ◆人的、経済的交流を促進し事業連携や地域振興を図り、会員事業所発展のための情報提供や取引拡大につなげるため、鹿沼商工会議所と友好提携に関する協定書を締結した。(10/7)



▲両地域の振興と発展を目指し「絆」を結んだ  
柳生修会頭(左)と片柳伸一鹿沼商工会議所会頭(右)

##### ○会員親睦交流事業

- ◆会員事業所の親睦を図るための事業を開催した。



参加者：152名  
優勝：南部ブロック  
準優勝：佐野ブロック

◀優勝した  
南部ブロックのメンバー

##### ▲ブロック対抗親善ゴルフ大会(9/19)



参加者：112名  
優勝：商業部会  
準優勝：交・工部会

◀優勝した  
商業部会のメンバー

##### ▲部会対抗親善ボウリング大会(11/21)

##### ○ひたちなか商工会議所顕彰

- ◆商工会議所活動に顕著な貢献のあった会員・団体を表彰した。(6/27 第97回通常議員総会にて)
  - 組織強化部門：アクサ生命保険ひたちなか推進員
  - 創業・チャレンジ部門：  
わくわくビーファーム 代表 菅井秀明
  - 地域貢献部門：根本解体 代表 根本弘
  - 特別賞：茨城県立那珂湊高等学校「マスクプロジェクト」

##### ○健康経営への取り組み

- ◆仕事と健康を両立させることで、組織や個人の持続的な発展を目指す経営手法である「健康経営」。ひたちなか商工会議所でも、健康経営への取り組みが優良であると認められ、2022年度より毎年「健康経営法人」の認定を受けている。



▲(株)伊藤鑄造鉄工所を見学

##### ○意見要望活動

- ◆ひたちなか市に中小企業の支援強化など9項目を要望した。(11/24)
  - ▶要望先：ひたちなか市長、ひたちなか市議会議員



▲延伸に向けて動き出した  
海浜鉄道湊線

◀大谷市長へ要望書を手渡す  
柳生会頭と鴨志田政策委員長

- ◆かねてより市へ要望していた、「ひたちなか海浜鉄道延伸の実現に向けた支援」について要望が実現した。
  - ▶現在ひたちなか市では、ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸事業について、新駅の位置変更などの計画変更に基づき、令和6年2月9日に、国土交通省関東運輸局に「鉄道事業基本計画変更認可申請書」を提出し、3月4日に認可を取得。これを受け、先行して整備を実施する第1工区につき速やかに工事施工認可の申請を行っている。(R6.3.31現在)

##### ○運営基盤の強化と会員サービスの充実

##### ◆会員増強キャンペーン

- ▶第1弾 5月1日～6月30日
- ▶第2弾 10月2日～11月30日
- ▶第3弾 1月16日～2月16日

＜令和6年3月31日現在＞

会員数 4,102 件 組織率 75.8%

##### ◆ブロック巡回

会員と商工会議所をつなぐパイプ役である、商工振興員(7つのブロックから選出された40名)と連携し、対面で「会員事業所の要望を聞く、商工会議所からの情報提供を行う、巡回活動を行った。

年間巡回件数 1,664 件